

産業建設委員会

委員会活動報告

7月4日

「市内スキー場の入込状況等について」

（福祉文教委員会産業建設委員会連合委員会）

市内スキー場の近年の入込状況等について報告があり、スキー人口の減少や、自然環境の影響等により苦戦傾向にある中、高山市が筆頭株主となるチャオ御岳スノーリゾートが今期の営業準備を見送るとの意向が報告され、今後のスケジュール等について確認されました。

7月27日

「鳥獣被害対策について」

有害鳥獣の捕獲技術の向上及び捕獲技術者の確保を図るため、一般社団法人飛騨猟友会が計画している射撃場整備事業（久々野町辻432番地1、朝日町見座1353番地1外22筆、9.85ha、工事費2億5千304万円）に対し、国、県、関係市村（飛騨市、白川村）と連携し支援を行う旨、報告されました。

また、9月定例会で



射撃場整備予定地の調査

補正予算が提出され、

国庫補助対象2億1千776万円については国が55%、県が20%、残額の国庫補助対象外については県が50%、市村においてもそれぞれ県と同じ補助をするもので、9月19日には委員会にて現地視察を行いました。

8月23日

「宮川人道橋（仮称）の整備について」

下二之町大新町伝統的建造物群保存地区をはじめとする古い町並や朝市のある宮川右岸と、本町商店街等の商業空間のある左岸との接続により、より利便性や回遊性を高めるとともに、良好な水辺景観の創出により市民や観光客が憩えるような施設整備を行い、周辺地域の活性化や賑わいを図るものとして協議されました。

今後のスケジュールと合わせ、プロポーザ

ルによるデザイン等の募集の詳細の確認や、周辺施設との一体的な利活用、住民の要望等についても協議されました。

「除雪計画の見直しについて」

短期間での大量降雪や、継続的な低気温等による、路面状況の悪化への対応として、現行の除雪計画の見直しを図るもので、全ての除雪業者に対して個別面談を実施し、意見聴取や受託可能範囲の調査を踏まえ協議されました。平常時において

は、①作業の出動基準や作業方法、②委託路線の効率的な配分、③除雪体制の拡充、緊急時においては、①出動基準及び作業方法、②応援体制の見直しについて協議されました。

「高山駅周辺整備事業の実施状況について」

高山駅周辺整備事業の実施状況について報告されました。

各未整備施設の供用開始予定は、東口及び駅西口駅前広場、駅西交流広場は平成30年1月、駅東自転車駐車場は平成30年4月、観光



宮川人道橋（仮称）の架設位置

案内所は平成29年9月からとなります。

「平成29年指定管理者募集方針について」

更新が必要な指定管理施設（パスカル清見オートキャンプ場）の募集方針について報告されました。おっばら自然体験センターとのグループ化に向け、指定期間の終期が調整されます。

分野別意見交換会

産業建設委員会では所管する分野における専門的なご意見を抽出するため、分野別意見交換会を随時企画しています。

第1回目として9月19日に、飛騨高山旅館ホテル協同組合の皆様と、観光面におけるインバウンドの状況と今後について、市内観光に関する現状について等、深く意見交換を行いました。